

公益社団法人精密工学会 プラナリゼーションCMP とその応用技術専門委員会
第 229 回研究会開催のご案内

このたび、プラナリゼーション CMP 専門委員会では、下記の通り第 229 回『総会・特別講演会』研究会を開催いたします。会員各位の多数の皆様のご参加をお待ちしています。また、非会員の方のご参加も有料にて受け付けております。是非ご参加下さい。



日 時：2026 年 3 月 9 日(月) 12:30～17:30 / 17:30～19:30 情報交換会

開催場所：TKP ガーデンティ PREMIUM 京橋 (JR 線 東京駅 八重洲南口 徒歩 5 分)

東京都中央区京橋 2-2-1 京橋エドグラン 22 階 TEL 03-3516-3602

※オンサイトのみの開催となります。

※開催 10 営業日前の 2 月 23 日午前中までに必ず事前登録をお願い致します。

プログラム：

1. 12:30～ 12:35 開会挨拶 (黒河委員長)

2. 12:35～ 13:10 総会

3. 話題提供 (13:10～17:20) / 質疑応答含む

1) 13:10～13:50 (40 分) 「先端半導体向け CMP 装置の最新技術」

(株) 荏原製作所技術 研究開発統括部 課長 梶川 敬之 氏

＜概要＞ 次世代の高性能半導体では回路の微細化と多層化が進行しており、それに伴い CMP 装置には従来以上にウェーハに対する高精度な平坦化と高い均一性、そして高水準の清浄度が要求されている。本講演では当社の基盤技術に基づく精密な研磨プロセスの確立、および歩留まり向上に直結する高効率な洗浄プロセスの装置開発事例など、最新の CMP 装置における取り組みを紹介する。

2) 13:50～14:30 (40 分) 「現地での活動から見たインド半導体産業」

(株) 東邦鋼機製作所 事業統括部長 西村拓也氏、日印コンサルティング(株) CEO 安井 重磨 氏

＜概要＞ メディアでも大きく取り上げられている発展著しいインド半導体産業について、現地で進出活動を行っている(株) 東邦鋼機製作所、半導体・工作機械の展示会出展支援を数多く行ってきた(特定非営利活動法人) 日印ビジネスビューローからその実情を共有し、今後のインド半導体産業の課題・将来性を見ていく。

3) 14:30～15:00 (30 分) 「インド半導体政策の現状と日印連携による将来性」

India Electronics & Semiconductor Association インド電子半導体協会「セミコンインディア主催団体」事務局長 ヴェド・プラカシュ・マール 氏

＜概要＞ インド政府が進める半導体内製化を主軸とした「インド半導体ミッション」の下、同政府と緊密に連携をとるインド電子半導体協会から、最新の政策状況について、日本企業に対する具体的な期待分野とともに紹介します。

.....

15:00～15:10 休憩

.....

4) 15:10～15:20 (10 分) 「製品品質・歩留り向上の為の面圧評価事例」・・・会員からの製品紹介

富士フイルム(株) アドバンストファンクショナルマテリアルズ事業部 岩田 高明 氏

＜概要＞ 装置・治具の接触面/プレス面の圧力測定に悩むことは無いだろうか？ 圧力測定フィルム「プレスケール」は簡便に面圧分布を測定し、取得した圧力情報を定量化ツールで数値評価・解析が可能である。開発現場や装置の定常管理、保守での活用事例と共に紹介する。

5) 15:20～16:20 (60 分) 「半導体産業の利益率はどうして高いのか？」

～半導体の価格戦略と外注が利益率に及ぼす影響～

(株) レゾナック フェロー 近藤 誠一 氏

＜概要＞ 2023 年 3 月の本研究会での講演で、半導体産業の高い利益率が高い生産性によるものであることを指摘し、さらに半導体メーカーに代表される固定費型企業は変動費型企業（自動車メーカーなど）と比較してハイリスク・ハイリターンであることを説明した。今回はそれをレビューしつつ、半導体メーカーにおける価格設定や外注 vs 内製が利益率に及ぼす影響を変動費型企業との違いで議論する。

6) 16:20～17:20 (60 分) 「半導体産業は 2030 年に 300 兆円の巨大市場構築

～シリコン列島ニッポンの新時代がやってきた！～

(株) 産業タイムズ社 代表取締役会長 泉谷 渉 氏

＜概要＞ 半導体産業は AI をキーワードに爆裂成長の時代に突入した。2025 年に 105 兆円の太台に乗った市場は、2030 年には 300 兆円を突破する勢いであり、さらに加速している。こうした状況下で、日本政府は積極的な半導体支援策を推進。シリコン列島を形成し、半導体による国起こしに全力を挙げてゆく。

4. 17:20～17:25 連絡事項

5. 17:25～17:30 閉会挨拶

6. 17:30～19:30 情報交換会

参加費

1. 企業会員：無料（年会費 100,000 円） ※2 名迄無料、3 名以上は 3,000 円／1 名

2. 官学会員：無料（年会費無料・要登録

3. 非会員：30,000 円（今回の研究会のみの参加費）

※ご入会検討でお試し参加される場合、初回のみ一人様 15,000 円でご参加頂けます。

※人数確認のため会員方も必ず事前に申込書の提出をお願い致します。

2026 年 3 月 9 日 (月) 第 229 回研究会参加申込書

☐ 第 229 回研究会 ☐ 情報交換会

氏 名				
勤務先・所属				
連絡先	住所			
	TEL		FAX	
	E-mail			

※ホームページからオンライン申し込みできます。

<http://www.planarization-cmp.org/registration>

問合せ先：「プラナリゼーション CMP 専門委員会」事務局（中村）

TEL：03-5962-3145, FAX：03-5962-3146, e-mail：nakamura@global-net.co.jp